



▲しづき祭り (2004年8月8日)
当時の日向野市長、増山議長らが来滝。しづき祭りに参加されました。



▲「滝川市と栃木市との友好親善の推進に関する確認書」締結 (2011年7月21日)
当時の鈴木市長、大川議長らが来滝。



▲滝川市・栃木市友好親善都市盟約40周年記念特産品スペシャルブース (2022年7月27日)
道の駅たきかわにて、2日間限定で設置され、大川市長らも視察。

~Photo Library~

これまでの交流の歩みを
写真と一緒に振り返ります



▲ジンギスカン王国 (2009年7月5日)
栃木市職員が来滝。物販に参加されました。



▼菜の花まつり (2018年5月27日)



▲栃木市・滝川市友好親善都市盟約40周年記念式典 (2022年7月28日)
ホテル三浦華園にて、これまでの交流を振り返るとともに、栃木市・滝川市交流推進の確認書を交わしました。

特集 友好親善都市 とちぎ

今年、昭和57年4月15日に栃木市と滝川市において友好親善都市の盟約が結ばれて以来、40周年の節目の年となります。今回の特集では、これまでの歩みを振り返るとともに、これからも関係を深めていく栃木市について紹介します。



うづまがわ
栃木市内を流れる巴波川。遊歩道になっていて歩きながら「蔵の街」として知られる栃木市の風情を感じられる場所。川には鯉が泳いでいます。

栃木と滝川を つないだきつかけ

栃木市と滝川市が友好親善都市の盟約を結んだきっかけには、國學院大学女子短期大学Ⅱ現在の國學院大学北海道短期大学部(以下、短大)の誘致が関係しています。

昭和40年代以降、空知管内において大学を設置していなかったのは中空知だけということもあり、滝川市は大学の誘致に意欲的でした。昭和50年代に入り、國學院大学の理事であり、滝川市出身の高宮行男氏の功績もあって、短大の誘致運動に動き出しましたが、その際設置母体をどこにするか、という問題が生じたのです。

そのころ國學院大学は、100周年記念事業の運営で大学新設に手が回らないとの事情があり、一時、学校法人國學院大学栃木学園を主体として、短大を設置することが検討されました。

これを受け、滝川市理事者や市議会議員などが大学設置に関する調査のため、栃木を訪れる機会が増え、両市の交流が始まりました。その後、各種行事などを通じてお互いの友好関係を深めてい

き、昭和57年2月には、滝川市議会において両市の友好親善都市盟約を結ぶことが満場一致で決定されました。また、栃木市議会においても、直ちに同様の議決がなされ、後に盟約式が盛大に開催されました。



▶左が永田栃木市長、右が吉岡滝川市長。



▶昭和57年4月15日に結ばれた盟約書をもとに造られた盟約記念碑。市役所南口玄関を出て左手側に建てられています。